

組織目標評価報告書（令和7年度）

部局名： 評価センター		部局長名： 伊藤 武彦
目 標		目標に対する達成状況（成果）及び新たに生じた課題等
①教育領域	関連する 中期計画の番号	
		教育領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
②研究領域	関連する 中期計画の番号	
		研究領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
③社会貢献（診療を含む）領域	関連する 中期計画の番号	
		社会貢献（診療を含む）領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	
		管理運営領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
⑤センター・機構等業務	関連する 中期計画の番号	
		センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
1. センターの体制整備 評価センターの運営体制について普段より必要に応じた改善を行い、学内の評価業務に資するようにする。	(14-1)	1. センターの体制整備 作業部会において、自己点検・評価及び第4期中期目標期間における計画の進捗状況について検証を行い、その結果を学外委員を含む運営委員会で確認し、学内の評価業務を着実に運用した。
2. 自己点検・評価に関する対応 令和4年度より整備された内部質保証体制の下、自己点検・評価の実施及び検証に係る支援を行う。		2. 自己点検・評価に関する対応 自己点検・評価の実施及び検証に係る支援を行い、「令和6年度に係る自己点検評価書」を取りまとめた。学内諸会議で審議・承認の上、評価センターのウェブサイト上で公表した。今回、自己点検・評価の過程で課題となった「全学における検討課題に関する進捗状況の確認方法」について検討を行い、改善策（執行部で担当を決めて年度内に大学経営戦略会議で改善策を報告し、次年度の報告書に進捗を反映）を提示して今年度から実施することで、自己点検・評価体制を強化した。
3. 法人評価に関する対応 第4期中期目標期間における計画の進捗状況等の検証（モニタリング、レビュー、その他必要な業務）を行う。特に、令和8年度に受審する法人評価の4年目終了時評価に向けて、報告書作成担当部署を対象とした丁寧な説明を行うなど支援体制を強化し、必要に応じ評価センター作業部会・運営委員会の活動時間を増補して対応する。		3. 法人評価に関する対応 第4期中期目標期間における計画の進捗状況等のレビューを行い、「令和6年度 中期計画の進捗状況について（概要）」を取りまとめ、学内諸会議で審議・承認の上、評価センターのウェブサイト上で公表した。また、第4期中期目標期間4年目終了時評価に向けて、報告書作成担当部署を対象とした情報提供の仕組みをMoodle上に作成し、説明動画4本を含む情報提供を実施した。加えて、評価センター作業部会・運営委員会の開催回数を増補し、各種報告書について確認・検証・修正案等の提示及び修正後の報告書の確認・検証を行うとともに、報告書作成担当部署からの質疑・相談に丁寧に答えるなど、支援体制を強化した。特筆すべきこととして、受審時に提出する各種報告書のとりまとめにあたり、学内用AIを用いた推敲作業を取り入れ、業務の効率化と作業部会委員の負担軽減を達成した。
4. 教員活動評価に関する対応 教員活動評価の評価結果を取りまとめ、評価実施状況等の分析を行う。		4. 教員活動評価に関する対応 教員活動評価の評価結果を取りまとめ、評価実施状況等の分析を行い、学内諸会議で報告した。

注1）本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。
注2）自己評価による達成度（5～1）は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。